

環境対応技術、そして世界に通じる技術へ



代表取締役社長

山下 文隆

「情報化社会」、「ボーダレス時代」の到来を実感し始めたのは、既にひと昔前のことですが、その後もIT技術の進展はめざましく、地球規模での情報の流れ、その迅速さ、それによって日々の生活が様々な分野で大きくその姿を変えつつあることに驚嘆する今日この頃です。

技術分野の動向につきましても、ISOなど国際標準規格の普及・拡大に見られるように、国家間の障壁の低下、消失が急速に進展する今日では、「技術」のグローバル化は必然の道筋となっており、それだけに「世界に通じる技術」への期待が高まっています。今やわれわれ塗料分野も、この「情報のスピード」に対応するとともに、「情報の透明性」を求める社会と深く関わり合いながら技術力を高め、商品をタイムリーに開発することが求められています。

さて、環境問題への取り組みが、まさに国境を越えた大きなうねりになっていますが、わが国の塗料産業も本年は重要な節目の年を迎えました。即ち、VOC排出抑制の実現を目的とした改正大気汚染防止法の政省令や告示が公布され、2006年4月に施行の運びであります。また欧州の最近の環境規制の動向を注視し、適切な対応を進めていかなければなりません。当社は、環境対応技術・商品の開発にいち早く取り組み、常に業界をリードしてまいりました。今回のVOC排出抑制等についても、社会・ユーザーの目線に立ち、スピーディな技術開発・対応を進めてまいり所存であります。

ご承知のとおり、環境対応技術は循環型社会の実現には不可欠の技術であり、当社の技術開発における環境技術重視の姿勢は今後も更に強化してまいり所存です。このほか当社では、近年化学分野で大きな進歩を見せているナノテクノロジー分野での技術開発、技術基盤の構築に注力してまいりました。循環型社会の実現に寄与する環境技術、豊かな可能性を予感させるナノテクノロジー等、次代を担うこれら先進技術のグローバル化を実現し、世界に貢献しようとする道筋こそが、特に若い技術者の夢を育み、希望を叶えるものと期待しております。

また一方で、わが国は少子高齢化の時代を迎えています。このような時代における社会資本のあり方については、従前と異なる視座が必要であり、塗料の役割も見直され、そのニーズも大きく変化するに違いありません。今後の市場動向に期待するとともに、時代を先取りした提案力を高めたいところであります。

DNTコーティング技報は第5号発行の運びとなりました。当社の技術活動、方向性の一端をご紹介しますと、ご理解を賜いますとともに、塗料に携わる方々に僅かでもお役に立てることを期待しております。

平成17年10月